



# ACL再建術後のソフテック装具の使用

K.Steinbruck, F.Mauch, K.Braun, シュツツガルト Bad Cannstatt スポーツクリニック、整形外科術及びスポーツ医療クリニック

## 要約

シュツツガルトスポーツクリニックにおいて、前十字靭帯（以下ACL）再建術後の300例に、ソフテック装具を処方した。

1998年6月より12月までの術後の追跡調査期間中、100名のソフテック装具装着者の評価を行った。

評価は、術後2週目と6週目の詳細なアンケートにより行った。

総括すると、ソフテック装着者の91%が満足を表明するという、非常に説得力のある知見を得た。

被験者は、安定性、装着時の快適性、製品の取り扱い、これら全般において、良好若しくは非常に良好と評価している。評価結果は、ソフテック装着者の満足が高いレベルにあることを示している。

## イントロダクション

膝関節不全管理を目的とした、近年の医療及び外科技術の進歩と、整形外科装具療法への要求の変化は並行している。ソフテックの理想的な解剖学的デザインは、確実で根拠のある生体力学的原則に基づいており、これまでの装具を分析し、改良したことを示している。

新しい“テクニカル・インテリジェント”継手機構、ベクトルに基づく志向性を持ったニット編み、膝蓋骨軌道ガイドを兼ねる粘弾性インサート、これらは新しい装具設計の原則を実際に示すものである。

ソフテックの安定性と動的特性は、効果的かつ早期リハビリテーションの理想的な要素となる。

ソフテックの革新的継手のメカニズムは、自動的に個々の装着者の膝の折衷的（compromise）回転軸を見つけ出し、併せて屈曲と伸展10°ごとの、ROMの制限が可能である。

他の革新的な特徴は、従来からある硬性装具フレームに代わり、特別なニット編み技術を用いていることである。ニット編み技術は、生体力学的安定化において、硬性装具と同様の効果をもたらす。

またニットを用いることで、固有受容覚の強化、卓越した装着者の快適性、完全な軟部組織のコントロールを付加価値として提供する。（図①）



図①

